

■エジプト：エジプト政府が風力発電用に敷地を確保

エジプト電力省は2009年8月3日、ウインドファーム建設のために国有地63万ヘクタールを割り当てることを明らかにした。敷地はナイル川中流のベニスエフ、ミニヤー、アシユート各県に位置している。この敷地は今後のウインドファーム建設に関する入札に使用され、一部は政府および国際企業によって出資されるウインドファームに使用される見込みである。また、すでに、電力省は2009年6月に、紅海沿岸で12万ヘクタールの敷地を風力発電プロジェクトに割り当てている。産油国であるエジプトは化石燃料の枯渇に備え、再生可能エネルギーの開発を進めており、紅海沿岸で風力開発を行っている。政府は2020年までに、再生可能エネルギーによる発電電力量を20%、そのうち風力発電電力量を12%にすることを目標としている。